

一般社団法人 歯の寿命をのばす会

なぜ??

入れ歯をすると

残っている歯が

抜けていくのか?

サンプル



確かに最近
歯がグラグラ
してるのよね...

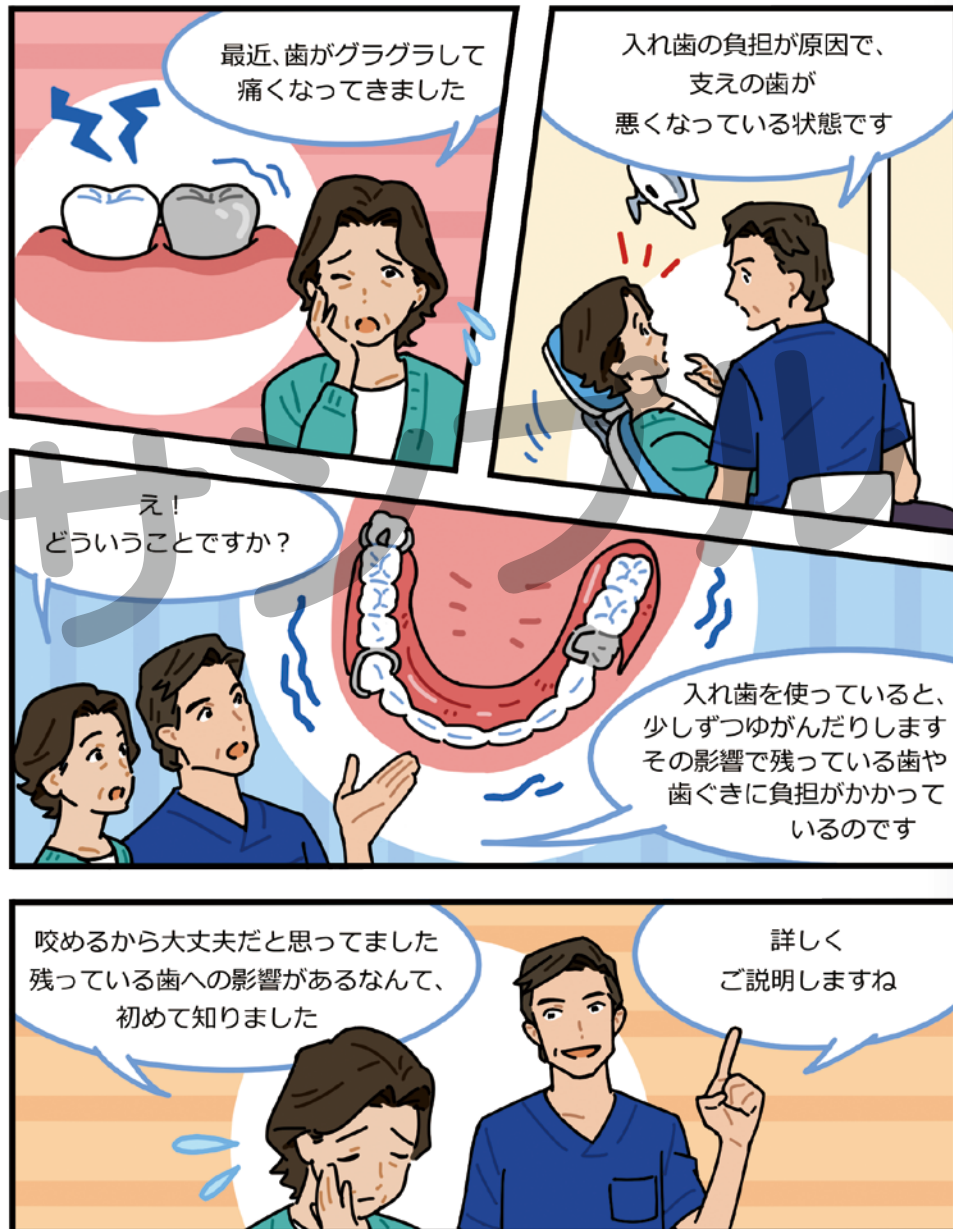


えっ!



一般社団法人
歯の寿命をのばす会

入れ歯が原因で起こる問題 ①



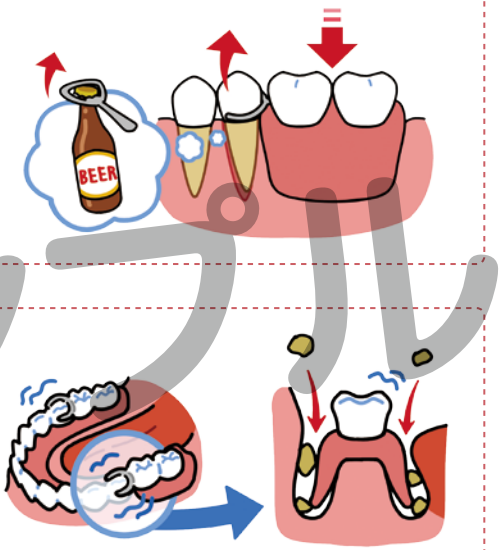
入れ歯による影響

入れ歯を使っていると、気が付かないうちに残っている歯に負担がかかっていることがあります。

入れ歯の影響 ① 残っている歯に負担がかかる。

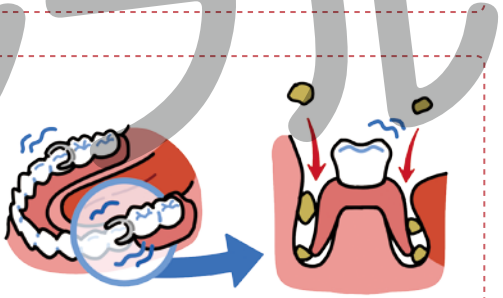
① 栓抜き現象による負担

バネがかかっている歯には、入れ歯を支える力が集中しています。その力はバネがかかっている歯を「栓抜き」のように引っ張っています。このため、入れ歯を長く使用していると、バネがかかっている歯が抜けてしまうことがあります。



② 揺れによる負担

入れ歯を作ってから時間が経つと少しずつ歯茎が痩せて、入れ歯との間にすき間ができます。それにより、入れ歯に細かい動きが多くなります。するとバネをかけている歯も一緒に揺れてしまいます。



③ ゆがみによる負担

入れ歯はほとんどの部分がプラスチックでできています。そのため、実は噛むたびに入れ歯にゆがみが生じています。入れ歯がゆがむたびに、バネがかかっている歯に負担がかかっています。



残っている歯は、気が付かないうちにこれら3つの負担を受けています。

Point!
痛みが出たり、歯がグラグラしたりする前の対策が大切です。

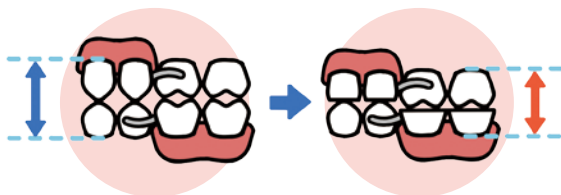


入れ歯が原因で起こる問題 ②

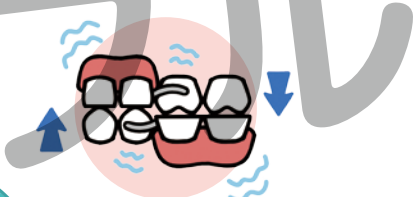
入れ歯の影響 ② 噛み合わせがズれる

天然の歯と、入れ歯(人工の歯)のすり減り方は異なります。人工の歯の硬さは、天然の歯の約1/10しかありません。つまり**入れ歯を使っていると、人工の歯だけがどんどんすり減っていく**のです。天然の歯と人工の歯に段差が生じると、噛み合わせもズレてきます。

●高さが変化して、顎の位置と噛み合わせがズれる



●天然の歯と人工の歯との間に段差ができて入れ歯が不安定に揺れる



噛み合わせがズれると、入れ歯は不安定となり、次第に揺れも大きくなります。ついには入れ歯を支える歯の負担が大きくなり、グラグラと揺れ始めます。

噛み合わせのズレは、患者さん自身では気づきにくいもの。しかしその影響はとても大きいのです。

人工の歯は非常にすり減りやすいので、定期的な確認を心掛けましょう。

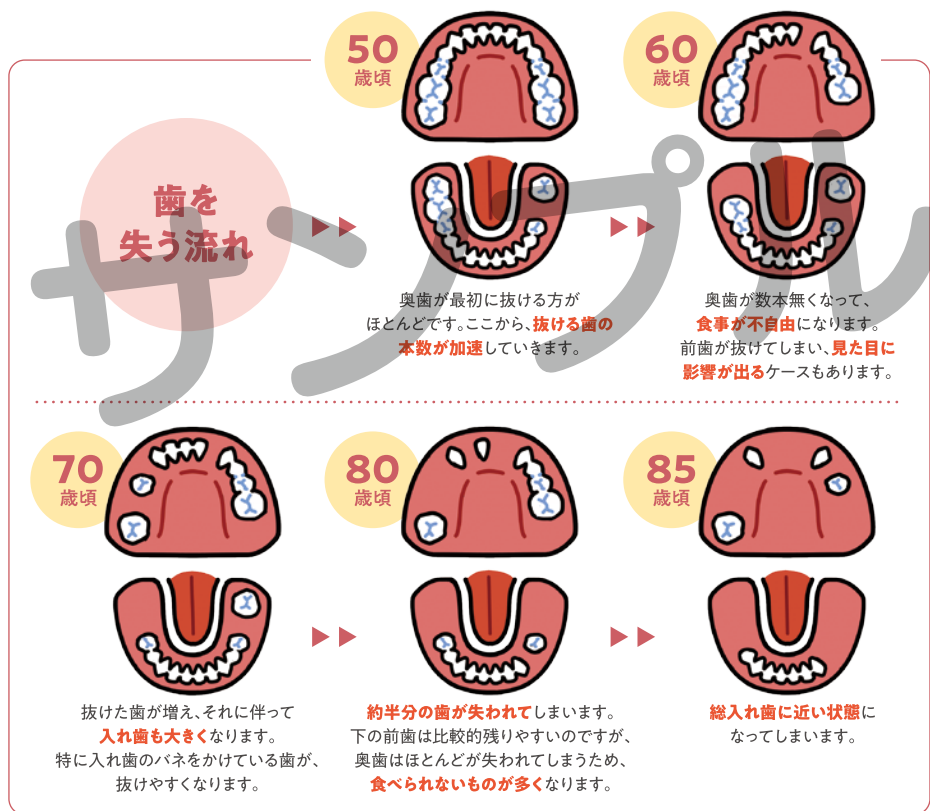
まとめ

- 食事に困らなかつたり、残った歯に痛みや揺れがなかつたりで、**気付かぬうちに問題が進行している**ことも多いものです。
- 自覚症状が出たときには、**歯を残せない**ことも少なくないので、注意が必要です。

歯が抜けていくとどうなるのか？

年齢と歯の状況

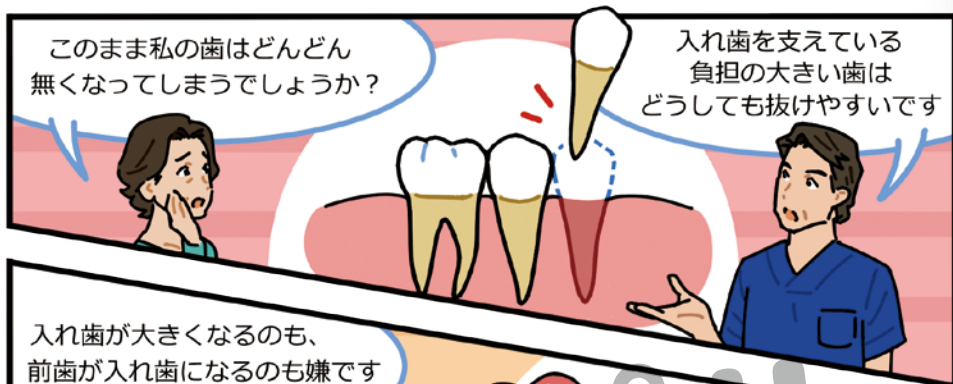
歯は年齢とともに失われていきます。事実**80歳には歯の半分を失って、大きな入れ歯を必要とする人がほとんど**です。歯を失うほど入れ歯は大きくなり、違和感も増します。とりわけ前歯が入れ歯になると、見た目にも影響します。



「もっと早くから歯を大切にすればよかった。」と、多くの患者さんがおっしゃいます。

ぜひ私たちと一緒に、今ある歯を長く残せるようにしましょう。

残っている歯を 長く残すためには ①



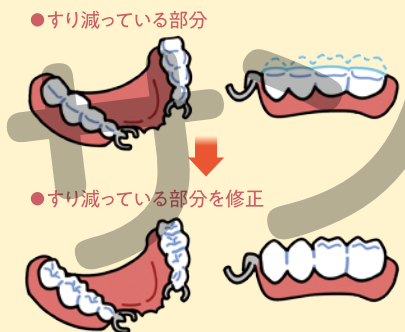
入れ歯と残っている歯の関係性

入れ歯を入れた後に、どうすれば元気な歯を残せるのか？
一般には見落とされがちな対策が3つあります。

対策 ① 入れ歯のチェックと調整をする

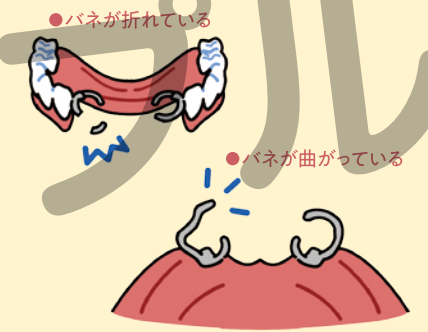
check ① 入れ歯(人工の歯)のすり減り具合をチェック

改善策 すり減ってズレた噛み合わせを調整します。場合によっては、すり減った部分に樹脂を足したりもします。



check ② バネのゆるみや破損をチェック

改善策 たわんだバネを締めて調整する。壊れている場合には交換する。
※バネは何度も曲げると折れやすくなります。



check ③ 入れ歯と歯茎との間にすき間が空いていないかチェック

改善策 入れ歯の裏側に樹脂を足してすき間を埋める。



check ④ 入れ歯によって歯茎が傷ついていないかチェック

改善策 入れ歯の内側を削る。一時的にやわらかい裏打ちを貼る。
※ただし、やわらかい裏打ちを貼ると入れ歯が不安定になるというデメリットもあります。

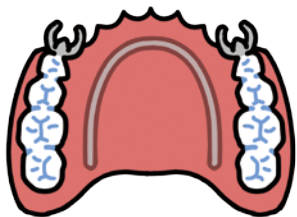


対策②

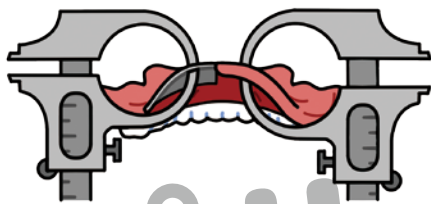
ゆがみにくい入れ歯を使う

入れ歯は噛む力でゆがんだり、たわんだりして変形します。その結果、バネをかけている歯に大きな負担がかかってしまいます。バネをかけている歯の負担が大きくなれば、揺れたり折れたりして歯の寿命が短くなります。つまり、**ゆがみやたわみを少なくすることが大切**になります。

対策 入れ歯の中に補強の金属を入れて、たわみを少なくする。



対策 プラスチックは厚くしてゆがみを少なくする。もしくは薄くてもゆがまない金属にする。

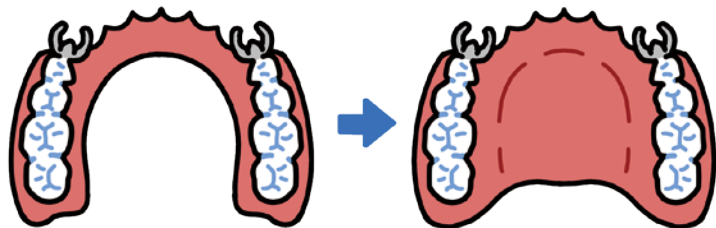


対策③

歯茎で支える部分を大きくする

入れ歯の歯茎で支える部分を小さくすれば、違和感が減る傾向にあります。ただし、大きなデメリットもあります。それは噛む力のほとんどを、バネがかかった歯で負担することによるデメリットです。つまり**残っている歯の抜歯が、その分早まってしまう**のです。

対策 歯茎で支える部分を大きくすることで、噛む力を歯茎が支えてくれる。噛む力を分散させることで、歯にかかる負担を減らすことができる。



バネがかかった歯の負担を減らすには、症状が出る前に対策をとることが重要です。

Point!
しっかり対策して、残っている歯を長く残していきましょう。

点検や治療のタイミングとさらなる解決策

点検や治療のタイミングは？

入れ歯を使っていて不自由がなくても、作ってから**2年以上経過している場合には、一度点検**を行いましょ。気付かないうちに不具合が起こり、残っている歯に負担がかかっていることがよくあります。また、前述の3つの対策をすることで、ある程度問題は解決できます。

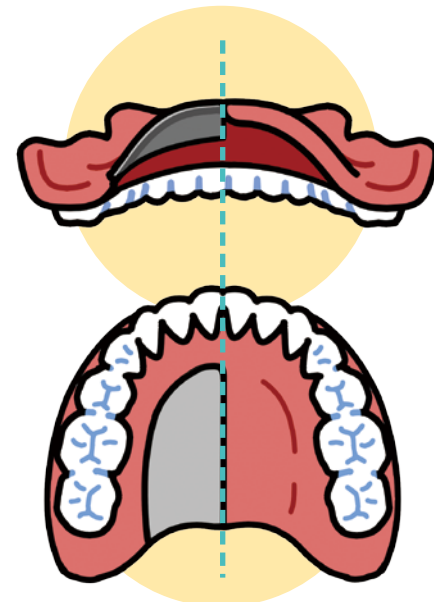


使いやすく、歯に負担が少ない金属製の入れ歯とは!?

入れ歯は構造上、バネをかけている**歯にどうしても負担**がかかります。負担によって歯が揺れてきてからでは、**抜歯になる可能性**も高まります。

左側は金属入れ歯
右側はプラスチック入れ歯

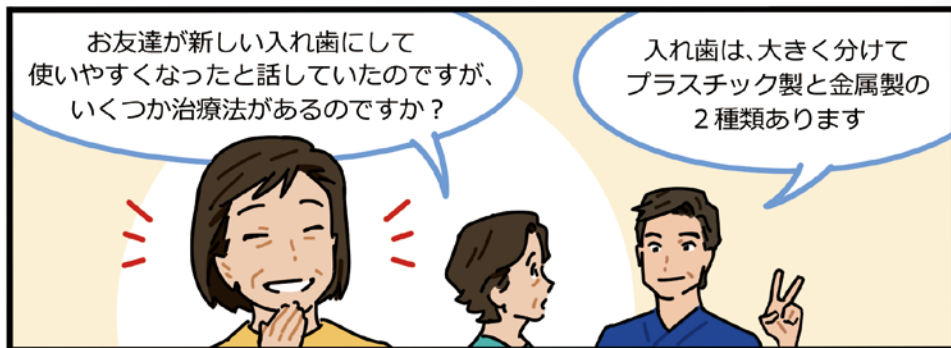
そこで、抜歯にならないために点検や調整をするのですが、デメリットもあります。歯の負担を減らそうとすると、入れ歯が厚くなったり大きくなったりして、違和感が強く出たり、発音がしづらくなったりと、**「生活感」が悪くなるのです**。歯は長く残したい一方で、生活感が悪化することに悩みを持つ方も少なくありません。



そんな方には、さらなる解決策として「歯への負担が少なく、生活感も良い入れ歯」のご利用をおすすめしています。

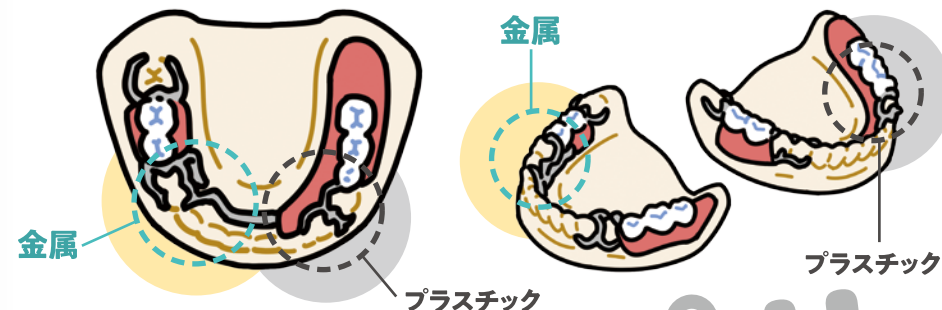
それは、**「金属製の義歯」**です。
(通常の入れ歯はプラスチック製です。)

プラスチック製と 金属製の入れ歯の違いとは？



2種類の入れ歯

入れ歯には大きく分けて2つの種類があります。
一つは金属製の入れ歯で、もう一つはプラスチック製の入れ歯です。
この2つの入れ歯には、見た目だけでなく、**特性に大きな違い**があります。



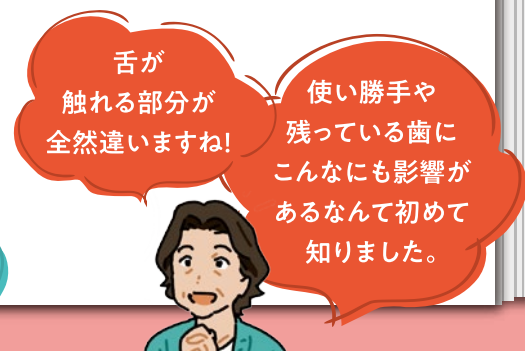
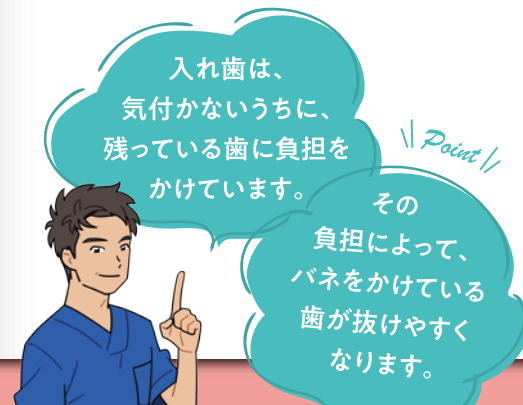
金属製の入れ歯によるメリットとは？

金属製の入れ歯にはこのような**大きな違い**があります

- 1** 強度があり、薄くできるので
使い勝手が良い
- 2** 入れ歯のたわみが少なく
歯の負担を減らせる
- 3** 歯茎を覆う部分を広くしても
違和感が少ない
- 4** 入れ歯の形の種類が多く
歯の負担を少なくできる
- 5** 金属はプラスチックより温度を
伝えやすいので**味覚が良くなる**

※プラスチック製は**保険適用**で、
金属製は**保険適用外**となります。

※金属製入れ歯の効果は人によって違うので、
必ず担当医にご相談ください。



入れ歯ってどうやって作るの？

プラスチック製入れ歯と金属製入れ歯とは、
製作の工程が異なります。

プラスチック製義歯の製作工程

- 1 **型とり** (既成の道具)
既製品の型枠で一般的な型取り材を使い、歯型を取ります。この型取りをもとに、石膏でできた模型を作ります。
- 2 **かみ合わせを記録**
かみ合わせの状態を記録します。
- 3 **試し入れ** (省略する場合があります)
完成一歩手前で、問題が無いかをチェックします。
- 4 **完成**

金属製義歯の製作工程

- 1 **型とり** (既成の道具)
- 2 **お口の動きを再現する精密な型取り**
型取り模型をもとにオーダーメイドの型枠を作り、精密度の高い型取りをします。

ここが非常に重要!

最終的な模型と実際のお口との差をできるだけ減らすことが目的です。

Point!!
金属入れ歯のケースでは、さらに精密な型取りが行われます。

2-1 お口の動きを型枠に記録させる

舌の動き・口元の動き・筋肉の動き再現することで、違和感や痛みの少ない入れ歯を製作できます。

舌や頬を動かして記録していきます。

2-2 ゆがみの少ない型取り材で最終調整

最後に精密度の高い型取り材(シリコン)で型を取ります。

最終的な型取り材にはひずみが非常に少ない物を使います。

Point!!
型取りの精度を上げるのは、非常に重要な工程です。

3 金属の枠の试着

入れ歯の骨組みが、ピッタリ合っているかを確認します。

4 噛み合わせを記録

前後左右、そして上下にもズレがないかチェックして、しっかり噛み合わせを記録します。

5 完成前段階の试着

歯並びや歯の形、入れ歯を入れたときの口元の調和を確認します。

見た目もとっても自然

6 完成

多くの治療ステップを行うことで、よりお口にピッタリ合った入れ歯を作成できます。

Point!!
金属製の入れ歯は、材質の差だけでなく、製作時の型取りの精度が異なります。

これにより、出来上がりの質が違ってきます。

歯の負担が少なく、 使用感も良い入れ歯!



よくあるご質問



Q 残っている歯が6本だけですが、金属製義歯は作れますか?

A 残っている歯の本数が**何本でも大丈夫**です。歯が1本も無い状態でも、**金属製の「総入れ歯」**が作れます。

Q 金属製にすると、どんなメリットがありますか?

A 「**食事の温度を感じやすい**」「**残っている歯の負担が減る**」「**薄く作れるので違和感が少ない**」などさまざまなメリットがあります。

Q 金属製入れ歯の治療は入れたら終わりですか?

A 精密に型取りを行うため、出来上がりも精密なものとなります。ただ、よりピッタリと合うように、最初は使ってから**何度かチェックと調整**を繰り返します。

Q 保険は適用になりますか?

A 金属製の入れ歯は、保険外のより良い材料を使うため、**保険の適用にはなりません。**

Q 医療費控除は使えますか?

A **医療費控除の対象**です。年収や治療費によって異なりますが、多くの方は、**20~25%程度の費用が戻る**ことがあります。



多くの患者さんが歯を失ってから後悔しています。

痛みなどが無くても、残っている歯に過剰な負担がかかっているケースもあります。

Point!!
ぜひ定期的に入れ歯の点検をしてください。